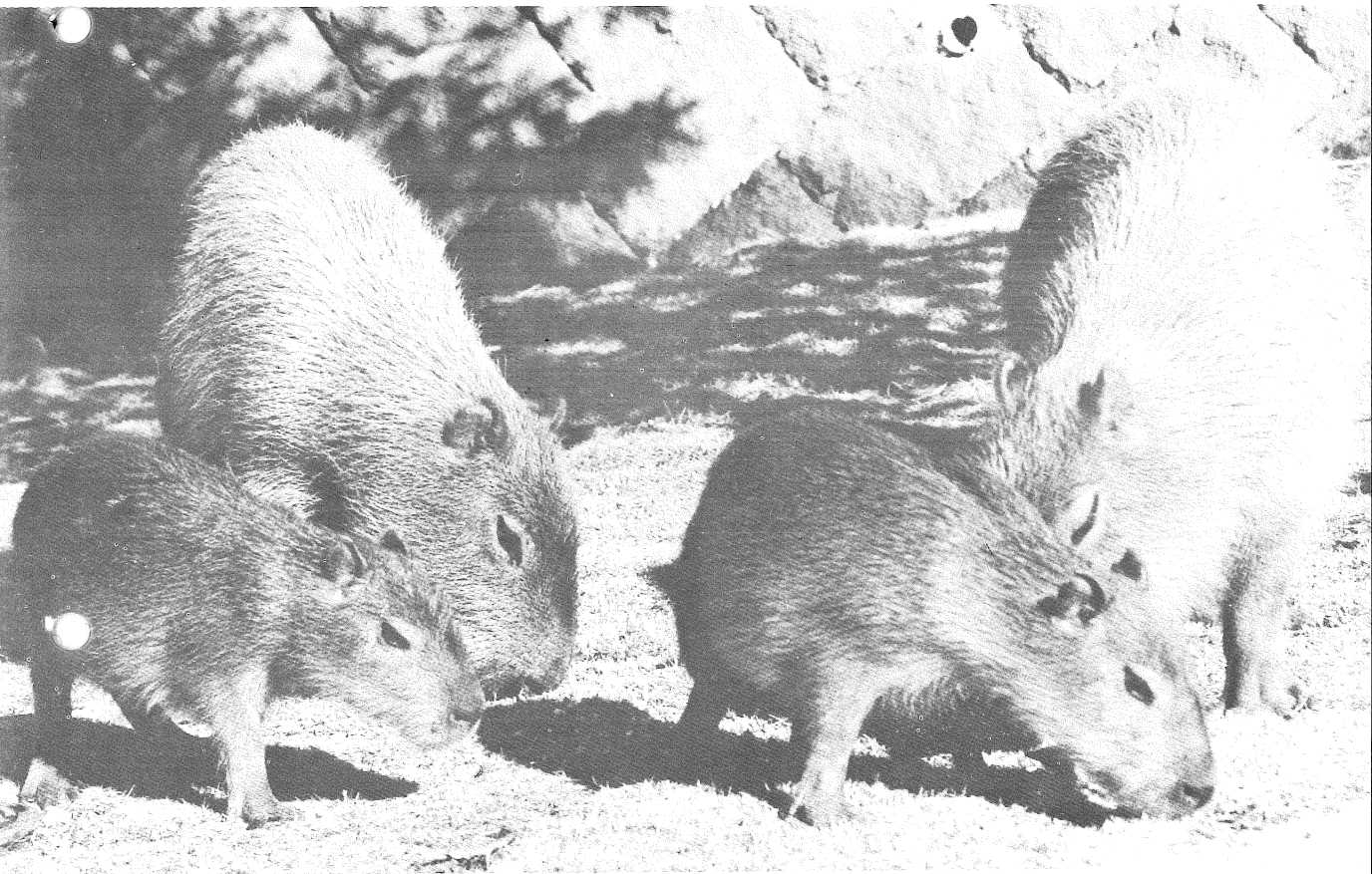


ひらかわ

No.9

アルパカ・ラマ来園特集

1976年4月



財団法人

鹿児島市動物公園協会



アルパカ・ラマを迎えて

鹿児島市平川動物公園 参事 川 畑 純 徳

日本では初めてお目見得するアルパカ4頭と一緒にラマ2頭をプレゼントしますという、ペルー国の動物公園から手紙が届いたのは、昭和49年1月のことでした。それからこの南アメリカ産の珍しい動物を受け入れるための努力が始められました。外国からの動物はいろいろな恐ろしい病気を持ち込む心配があること、輸送には船を使わなければならないという条件などがあって、輸入はなかなか思うように進みませんでした。輸入の許可があり、ペルーの国営船が積込みをOKしてから急速に実現の運びになりました。船中の動物の世話をするために、当動物公園の梶原獣医がペルー国に出張して、動物をつれて無事に昭和51年2月名古屋港につき、1か月の検疫をうけた動物は昭和51年3月鹿児島市平川動物公園に着きました。実に2年2か月にわたる年月を要しています。

アルパカもラマも、南アメリカのアンデス山中の高所に飼われている家畜で、アルパカは柔らかい毛を体につけ、40cmにも達する毛の部分もあり、良質の毛がとれるので、高級な織物がつくれます。ラマは、海拔3000メートルのアンデス山中で100kgちかくの荷物を1日25kmも運ぶことが出来るということです。また肉は食料に、毛は織物やロープに、皮下脂肪はローソク用として使われています。いずれも体が厚い毛で被われていますので、夏の暑さを無事にしのげるように、施設もとのえてあります。

近ごろ南アメリカの各国は、動物の輸出をきびしく制限しておりますので、アルパカ・ラマなどの動物もなかなか輸入される機会はないことが考えられます。日本とペルー国の親善使節の役割を担ったこれらの貴重な動物たちが、いつまでも元気で皆さんの友達として、つき合ってくれることを願ってやみません。

表紙

カピバラ

南アメリカの水辺にすんでいるおどけた顔

の可愛い動物です。

昭和49年9月6日ペルー国立動物公園より

贈られたものです。

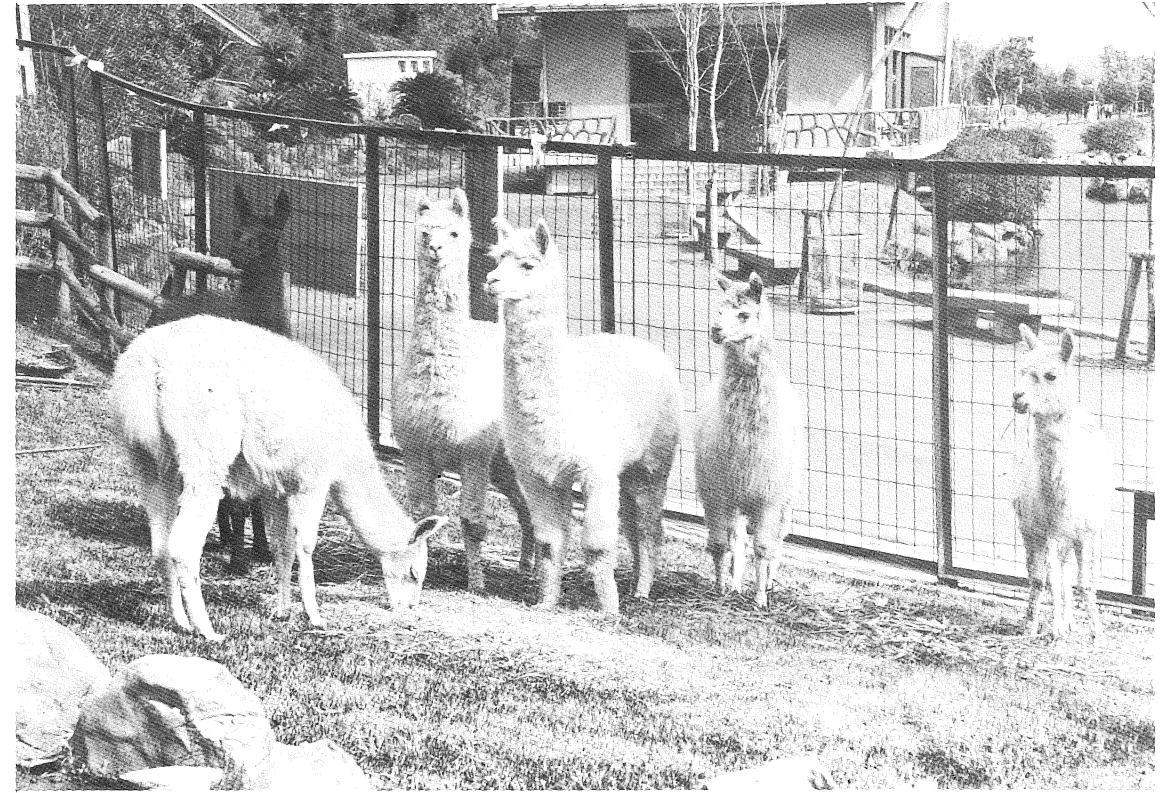
行事

- 5月2日3日5日 動物公園こどもまつり
自転車があたるプレゼントショー
こどものどじまん 外
- ◎5月5日 小・中学生の入園は無料です。
- 6月7日 計量記念日
ゴリラ(キング・メリー)の体
重あて懸賞 5₉~5₃
- 7月下旬 動物スケッチ大会

南米ペルー国から こんにちは!

アルパカさん ラマさん

動物親善使節来園



ペルー国立動物公園から寄贈され、昭和51年3月14日動物親善使節として来園しました。

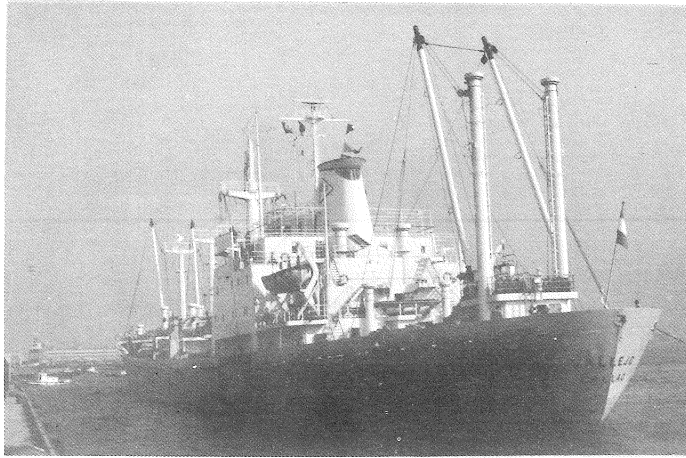
日本では初めてのアルパカさん、そして、スマートなラマさん。遠い国からご苦労さまでした。

どうぞ、元気で日本のこどもたちの良きお友だちとして仲良くして下さい。

写真は、左側2頭(白・黒)がラマ、右側4頭(白)がアルパカ

●春の動物公園まつり期間中、アルパカとラマの名前を募集しています。

ようこそ！アルパカさん。ラマさん！



◀昭和51年2月10日
午前10時5分待望のブルー国営船バレホはアルパカ・ラマとともに名古屋港金城埠頭にその勇姿を見せました。手前の高いマスト側にアルパカさんたちがいました。



▲▶ 長い船旅にもめげず、元気なアルパカやラマさんたちが目をバチクリしています。やがて、ハシケに移され上陸の準備です。

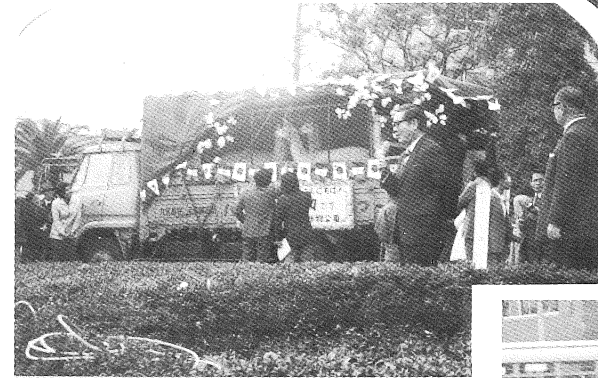
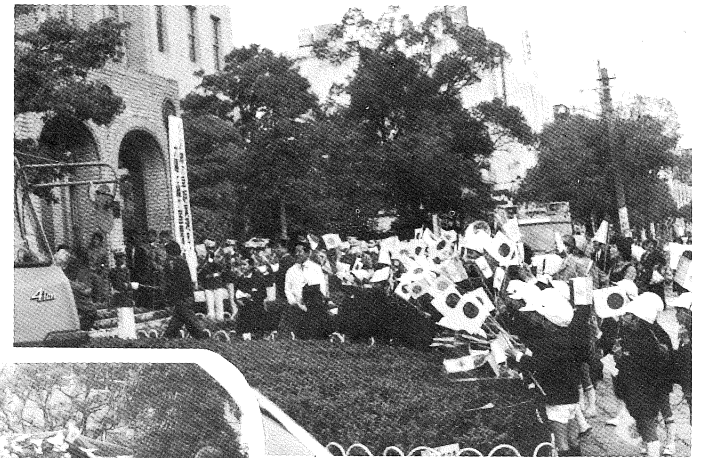


▶ ペルー国リマ市カイヤオ港出港(昭51.1.15)、動物輸送の任を果たした、梶原獣医師もホッとした表情です。 印

◀アルパカとラマ 遂に日本に上陸です。名古屋検疫所前棧橋にて写真。アルパカ(白) ラマ(黒)



▶ 昭和51年3月14日名古屋動物検疫所で1月余りの検疫を無事終了し、第2の故郷鹿児島に到着しました。翌3月15日鹿児島市消防音楽隊、山下小学校児童・市民に迎えられ盛大な歓迎式が市役所玄関前で行われました。



◀山之口鹿児島市長や小島市議会議長より歓迎のことばを受け、アルパカさんやラマさんたちも嬉しそうでした。

▶ 山下小学校4年生前野なおみさんは「アルパカさん、ラマさんようこそ私たち鹿児島において下さいました。私たちのよいお友達としていつまでも仲よくしましょう」と大きな声で歓迎のことばをおくりました。

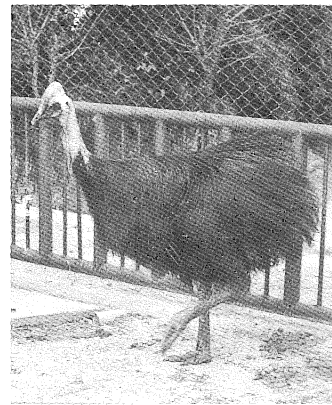


◀歓迎式終了後市内パレードを行い、無事平川動物公園に着園しました。

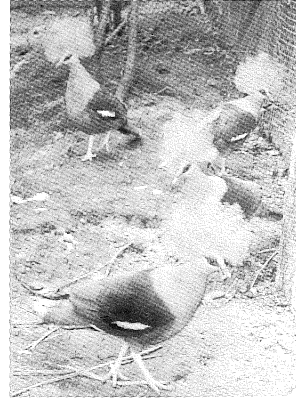




さいちょう



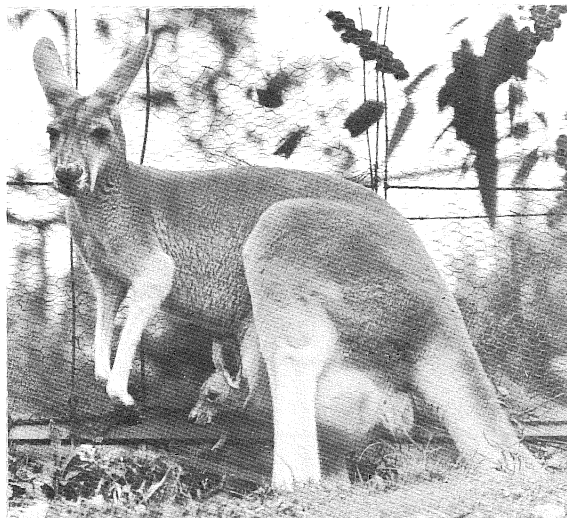
ひくいどり



かんむりばと

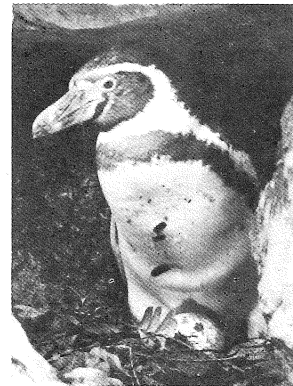
▲古希祝いにペットをプレゼント

鹿児島市長田町篠原直樹さん(70)より古希の誕生日を記念し、昭和51年1月20日「チビっ子たちに喜んでもらおう」と、ひくいどり、さいちょう、かんむりばと、カラカル、あらいくまなど6種13点を寄贈されました。篠原さんは動物が好きで自宅に飼っていたものです。



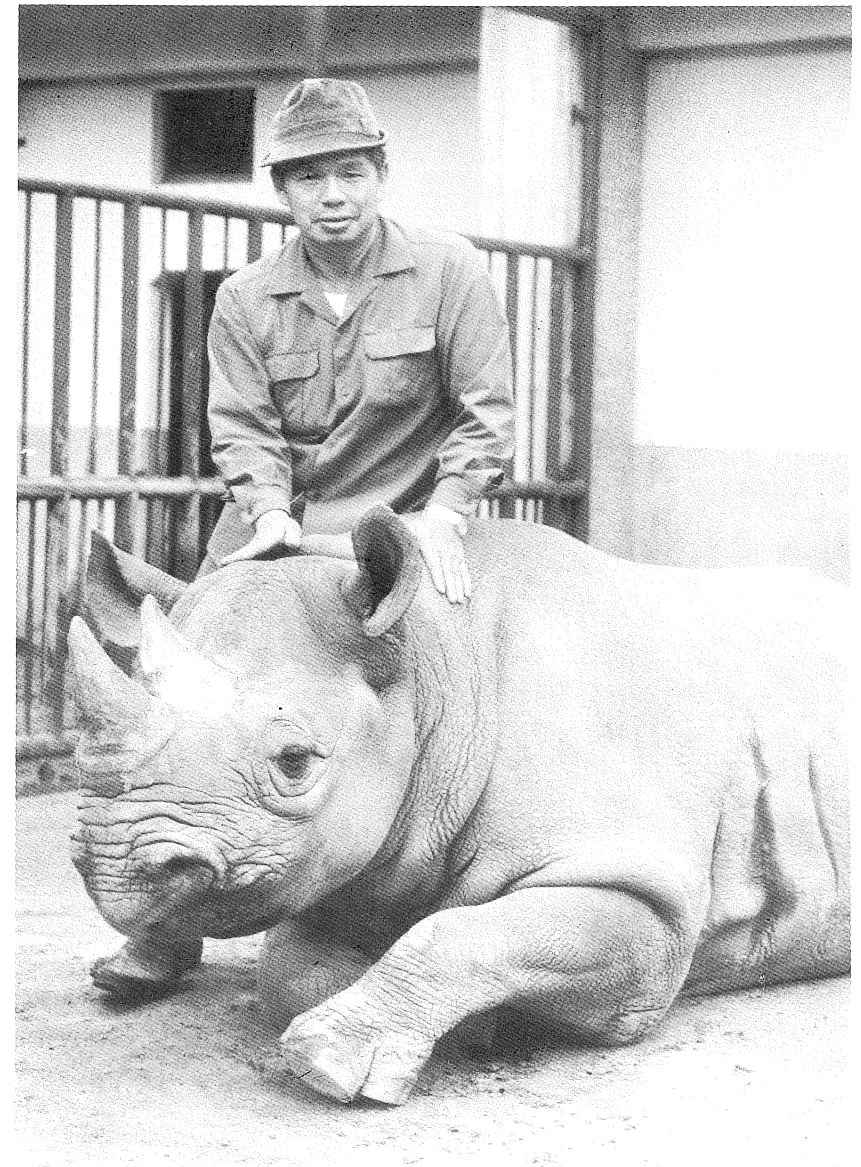
▲カンガルーの赤ちゃんがかわいい顔をだしました。

(昭 51. 2 .10)



▲フンボルトペンギンが、抱卵をはじめました。赤ちゃん誕生が楽しみです。(昭 .51 .4 .5)

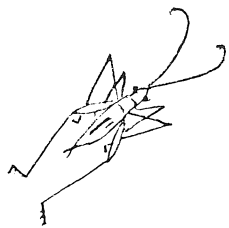
ハイ！担当は私です



▲くろさい

昭和49年7月管理係より飼育係に園内異動しました。私は初めての飼育でしたが、最初から、デッカイクロさいを担当することになり、私の小さいハートが、ドッキンでした。

私は先輩に教えられたとおり努力しましたので、今では、ごらんのとおり私の良き友になりました。(写真は雌の花子です)



秋の動物公園まつり (50 10/26 ~ 11/24)

動物写真コンクール入賞作品

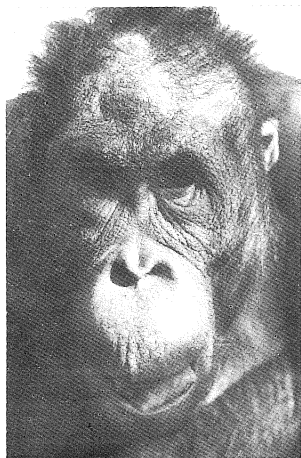
モノクロの部

▼ 推薦
オランウータン



鹿児島市 住 高 秀

▼ 特選
顔



鹿児島市 山 田 資 夫

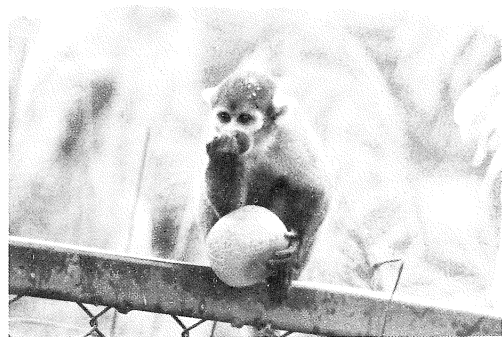
▼ 特選
ヘラサギの子



指宿郡山川町 上 園 重太郎

カラーの部

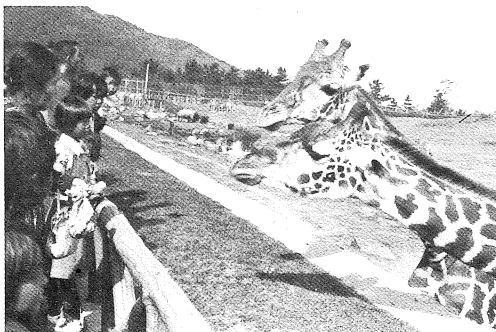
◀ 推 選
リスザル



鹿児島市
若 松 譲

特 選▶
やあ、こんにちは

指 宿 市
宮 原 みよ子



▲ 特 選
カンムリズル

鹿児島市
住 高 秀

動物公園のある日



◀ 昭和50年度動物愛護週間
児童作文入賞者表彰式
(昭 . 50 . 10 . 19)

鹿児島市清水小2年山下りえさん外47名のチビッコが入賞しました。
みんな賞状、賞品を手にして嬉しそうです。



◀ 秋の動物公園まつり
始まる!

10/26 ~ 11/24

天高く、どこまでも
青い空。
ドット押しかけた人、
人ぞしてまた人

▶ 園内ではチビッコたちの
サイター早のみ大会で会
場は笑いのウズです。



◀ チビッコ・ネンド工作大会
チビッコのかわいい手で、ネンドのぞう
さん、きりんさんなど次々と動物が作ら
れました。

行事

◎今年も平川動物公園をどうぞよろしく!

お正月お年玉プレゼントに1等当選で賞品(電気スタンド)を手に、大喜びのお友だちです。



鹿児島市
原良小 4年
野間朝代ちゃん



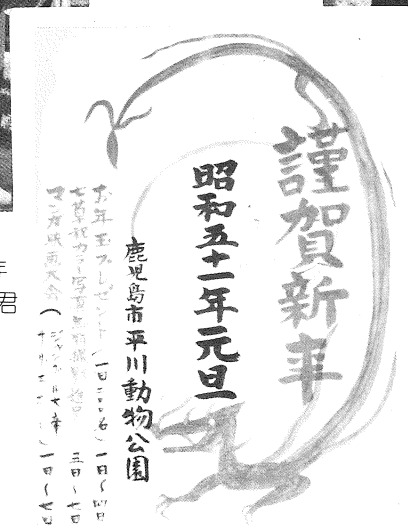
鹿児島市
和田小 4年
松山剛君



名瀬市
井根町
藤山哉君

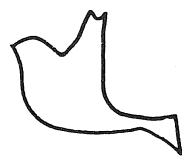
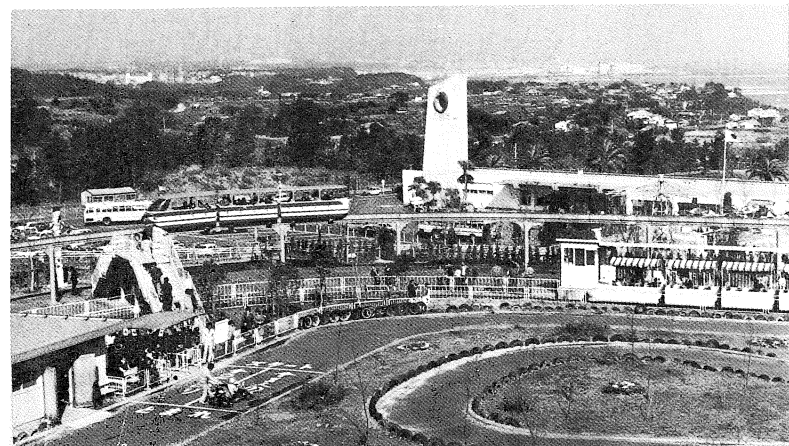


鹿児島市
田上小 2年
田之上 広君



平川動物公園の淡い緑がたのしい春を呼びました!

春の動物公園まつりが始まりました。(3/14~4/29)遊園地のモノレール、チエンタワー、こども汽車、ゴーカートなど、いっせいにこどもたちをのせて走りだしました。



昭和50年度動物愛護週間児童作文特選入賞



きりん

鹿児島市福平小学校 3年 西田 ゆかり

平川動物公園の入口を入って、一番先に目に入るのが、すらっとかっこいいきりんです。かけっこの早そうな足、長い首、おとなしそうな目、うす黄色で茶色の大きなまだらがあり、「わたしのスタイルを見てください」というようにすまして立っています。きりんは、子どもたちのにんきもので、図画のモデルになったりしています。わたしは、このかっこいいきりんについて、いろいろなことを知りたかったので、じてんや、本を見て調べてみました。きりんは、アフリカ大りのあつところの木が、まばらにはえているそう原に、小さなむれをつくってすんでいます。

りくでは、一ばんせが高く五メートルぐらいだそうです。体じゅうは五百キロから九百キロです。生まれたばかりの赤ちゃんは、高さが百六十センチぐらい、体じゅうが五十キロから、七十キロだそうです。生まれてすぐに立つこともできるし、歩くこともできるそうです。人間の赤ちゃんとは、まるでちがいます。

木のはを主食にしている、四十五センチもある長いしたで、アカシヤなどはを、こえだごと食べるんだそうです。わたしは、そんなに長いしたじゃないだろうと、思っていたので、このことを知ってびっくりしました。

きりんのきょうてきはライオンで、ライオンに見つくと、きりんは、あの長い足で、じそく五十キロの早さでにげるんだそうです。長い首で遠くを見まわして、てきがくるのをみつけると、さきににげるのでなかなかつかまらないのだそうです。

このことで、わたしが思ったことは、きりんは、かっこいい動物というだけでなく、生きるためにしぜんとあんなスタイルになったんだなあということです。どうしてかという、きりんは、たたかうぶきがないので、にげるため走るのに、べんりな長い足があるのだし、早くてきを見つけるために、長い首があるのだと思います。

じゅみょうは、二十年ぐらいです。あんな大きなからだをしているのになぜみじかいのかなあと思います。それに人間は、七十年ぐらいなのに、二十年ぐらいなんて、あまりにもかわいそうだなあ、思いました。

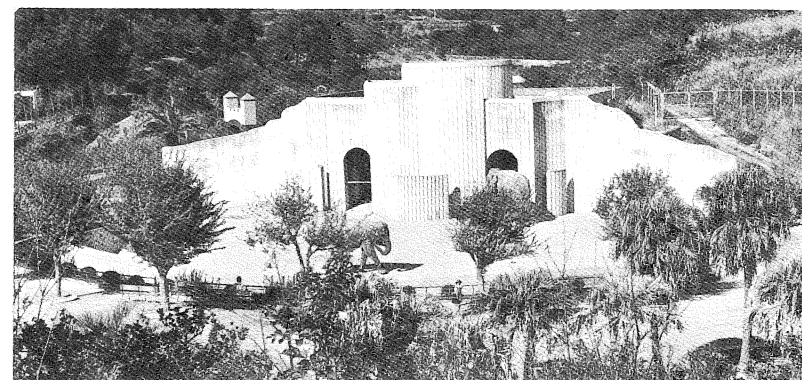
わたしは、きりんが、おもいきり走っているところを見たことがないので、一度でいいから見たいと思います。なぜ走らないのかわたしは思いつきました。それは、場所がせまいためあまり走ると、きゅうにブレーキが、かからないためだと思いました。

きりんについて、いろいろなことを知ってますます、きりんが気に入りました。

動物舎ご案内



動物公園の中央に位置する象舎です。ドム君とカン子ちゃんはいつも仲よく運動場を散歩しています。



動物公園の顔

ブラッサモンキー (Brazza's monkey)

霊長目 オナガザル科

色彩豊かな美しいサルで、ひたいに、だいたい色の三角形の毛があり、白いひげをはやし奇妙な顔をしています。アフリカのケニア、ウガンダ、コンゴなどの森林や湿地帯、川の岸辺にすんでいて泳ぎもうまい。食物は雑食性でバッタやコオロギなど昆虫もよく食べます。



動物公園協会だより

●広報車発車オーライ!

新車を配置しました。
かわいいカラフルな動物たちが
こどもたちの目を楽しませます。
早速、動物公園まつり宣伝に
県内、宮崎県など一走り
しました。
今後皆さんの町に村に参り
ます。どうぞよろしく。

入園記念 ペナント発売!
カラーが美しいです。



祝 こどもの日

●5月5日 こどもの日
小・中学生の入園は無料です。

●動物公園こどもまつり
5月2日、3日、5日
自転車があたるプレゼントショー
こどものどじまんなどでたのしく
遊んで下さい。



あなたの
勉強室の一角にどうぞ!

表紙題字

山之口鹿児島市長

ひらかわ No.9 昭和51年4月20日発行 第9号
発行所 鹿児島市動物公園協会 〒891-01
鹿児島市平川町5669-1 TEL 0992⑥2326~8
発行者 山之口 安秀
編集者 坂元 種夫